

専門教育科目		講義科目	
科目名： アカウンティング論		科目コード	EK38
科目主査： 友寄 隆哉 担当講師： 小紫 恵美子、友寄 隆哉		単位	2
		配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： ☒ あり ☐ なし ※状況によって実施しないこともある	個人ワーク： ☒ あり ☐ なし
いかに利益を生み出すか、利益はどうすればキャッシュ・フローに変換できるのか、この命題に対して経営者は常に最適な意思決定が要求されます。本科目では、「企業の利益状態の見方」「企業が利益を生み出すしくみ」「企業を成長に導く意思決定」の方法について、企業会計・財務情報を分析するための必須ツールである財務諸表分析とCVP分析を中心に、ケーススタディを活用しながら学習します。			
履修の前提となる科目	☐ あり ☒ なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点があればマーキングして質問ができるようにしてください。事前学習が万全でないと授業内容の理解が乏しくなります。特に、テキスト後半、財務の分野は丁寧に学習してください。		
テキスト	『アカウンティング・エッセンス』石川 勝, 産業能率大学, 最新版		
この科目の到達目標	① 財務諸表から経営成績、財政状態、資金の状況を指摘することができる。 ② 財務比率やCVP分析から企業の問題点や課題を提示できる。		
成績評価の方法	授業態度を重視し、授業時間中の集中度合い、参画度合いを評価対象とします。授業態度について、授業をちゃんと聞き、重要な点はノートにまとめるように取り組んでください。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。		
事後学習	授業で学んだ内容について、企業財務の立場から要点を整理しまとめること。 現代の企業は、収益力の維持・向上に苦しんでいます。収益力はどのような企業行動によって向上させることができるのか、まとめをすること。		
事後学習の参考文献	『教養としての「会計」入門』金子 智朗, 日本実業出版社, 2023年 『コーポレートファイナンス 戦略と実践』田中 慎一, 保田隆明, ダイヤモンド社, 2019年 『会計参謀 会計を戦略に活用する』谷口 学, 中央経済社, 2016年		
スクーリング受講時に用意するもの ☒テキスト ☒筆記用具 ☒電卓 ☒カメラ・マイクは必須となります。			